

事務局

【ILSI Japan 総会】

| | |
|--------|---|
| 1, 2 月 | <p>平成 24 年度通常総会が 2 月 15 日に江東区青海のタイム 24 ビルで開催された。</p> <p><u>議長選任</u> 長谷川香料（株）近藤康洋氏が議長として推薦され、満場拍手をもって同氏を議長に選任した。</p> <p><u>議事録署名人選出</u> ダニスコジャパン（株）梅木陽一郎氏、（株）明治金子哲夫氏のお二方が推薦され、満場一致でこれを承認した。</p> <p><u>審議事項</u></p> <p>第 1 号議案 平成 23 年度事業報告書案承認の件 議案 1 資料「平成 23（2011）年度事業報告書案」に基づき事業報告が行われ、採決に入り本件は可決承認された。</p> <p>第 2 号議案 平成 24 年度事業計画書案承認の件 議案 2 資料「平成 24（2012）年度事業計画書案」に基づき事業計画の内容が説明され採決に入り本件は可決承認された。</p> <p>第 3 号議案 平成 23 年度決算報告書案承認の件 議案 3 資料「平成 23 年度特定非営利活動に係わる事業会計収支計算書、同貸借対照表、同財産目録、及び収益事業損益計算書」に基づき、決算報告があり、引続き監事が監査報告を行い、必要な監査手続きにより監査したところ内容については適正妥当と認めるとの報告があり、採決に入り本件は可決承認された。</p> <p>第 4 号議案 平成 24 年度収支予算書案承認の件 議案 4 資料「平成 24 年度特定非営利活動に係わる事業会計収支予算書案」に基づいて予算案の内容を説明され、採決に入り本案は可決承認された。</p> <p>第 5 号議案 役員（理事）の定数の変更 現在の定款第 13 条の役員（理事）の定数について「理事 5 人以上 15 人以内」になっているが当機構の事業活動領域が広がり、現在の定数では新たな人材が必要になった時、対応できないので、定款を変更の上、理事 5 人以上 20 人以内」としたいとの提案があり、採決に入り本案は可決承認された。</p> <p>第 6 号議案 会長職の設置 産官学の協調性を維持するため等の理由で定款第 13 条、第 14 条を変更の上、会長職を設置したいとの提案があり、採決に入り可決承認された。</p> |
|--------|---|

第7号議案 常務理事の設置

敏速な意思決定により効率的な事務局運営と戦略的な諸事業を推進するため、定款第13条、第14条、第15条を変更の上、常務理事を設置したいとの提案があり、採決に入り本案は可決承認された。

第8号議案 一般社団法人「食と環境連絡会議」の ILSIJapan（特定非営利活動法人国際生命科学研究機構）への編入

一般社団法人「食と環境連絡会議」事務局長がこの「食と環境連絡会議」の目標と活動を今後更に発展させるために、今後の“あり方”と“体制”について議論した結果、現在 ILSIJapan が取り組んでいる改革と重なることも多いことから、「食と環境連絡会議」を解散し、その機能を ILSIJapan に編入したいとの提案があり、採決に入り本案は可決承認された。

第9号議案 一般社団法人「食と環境連絡会議」の残余財産の受入

一般社団法人「食と環境連絡会議」の解散時の残余財産約40万円を ILSIJapan（特定非営利活動法人国際生命科学研究機構）が受け入れて欲しいとの提案があり、採決に入り本案は可決承認された。

議長が、以上をもって予定された審議事項が全て終了したことを宣言し、事務局より下記の報告があった。

報告事項

下記の事項について報告が行われた。

① 次期役員選任

下記の方々（敬称略）が平成24年 ILSIJapan 役員に選任されたことが報告された。

重任 理事

木村 修一、上野川 修一、桑田 有、西山 徹、岩元 睦夫
坂田 隆、高瀬 光徳、辻村 英雄、戸上 貴司、福島 昭治
益田 和明、松山 旭、安川 拓次、山口 隆司

新任 理事

徳留 信寛

新任 監事

伊藤 建比古、辻 智子

退任 理事・監事

理事 小林 修平

監事 青山 敏明、町田 千恵子

② 諮問委員会の設置

諮問委員会設置の目的、役割、開催、背景、対応について報告された。

| | |
|----------|--|
| | <p>③ ILSI 本部総会</p> <p>アリゾナで開催された ILSI 本部総会の概略が報告されたが、本年度の活動に本部および各支部の協力と日本からの英語でのタイムリーな情報発信が今後の日本支部としての役割として意識して欲しいとの要請があったことが報告された。</p> <p>また、本部会費は従来会費の 10%と設定されていたが、企業からのサポートの 5%に変わることになったが、平成 24 年度の予算から概算するとあまり従来と金額的には大きな変化がないことが報告された。</p> |
| 3, 4 月 | |
| 5, 6 月 | |
| 7, 8 月 | |
| 9, 10 月 | |
| 11, 12 月 | |

+

【事務局】

| | |
|----------|---|
| 1, 2 月 | 特になし |
| 3, 4 月 | 特になし |
| 5, 6 月 | <p>ILSI Japan の事務所は 8 月 27 日をもって下記へ移転致します。</p> <p>東京都千代田区麹町 3-5-19 にしかわビル 5 F</p> <p>(現事務所より徒歩 3, 4 分で新宿通りをはさんで反対側になります。)</p> <p>つきましては、事務局会議室は移転準備のため 8 月 6 日 (月) より 8 月 31 日 (金) まで閉鎖する予定ですのでご協力よろしくお願い致します。</p> |
| 7, 8 月 | <p>事務局は 8 月 27 日より下記の新事務所に移転致しました。</p> <p>〒102-0083</p> <p>東京都千代田区麹町 3-5-19 にしかわビル 5F</p> <p>交通：東京メトロ「麹町」「半蔵門」共に駅徒歩 3 分</p> <p>地図⇒ http://www.ilsijapan.org/ILSIJapan/ILJ/ILJmap.php</p> <p>なお、移転に伴う Tel・FAX・E. Mail の変更はありません。</p> <p>平成 24 年 9 月 1 日付で、内田博氏が総務／経理担当事務局次長として当機構に勤務いただけることになりましたのでお知らせ致します。内田氏には味の素㈱で培った豊富な経理経験と知識をもちまして当機構の事業活動の、より敏速な計数管理と能率的運営を図ることを目指して頂きたいと思えます。</p> <p>また、当機構の研究会を担当しております杉崎祐司氏が 9 月 1 日付で学術担当事務局次長に就任されましたのでご連絡致します。</p> <p>ILSI Japan は本年度から新しい組織と体制で出発致しました。当機構が多様化する課題について、科学的な解明をはかる担い手になる上で、お二人のご参加は力強い支えになると確信しております。会員各位におかれましては、これまで以上に、ご支援とご協力をお願い致します。</p> |
| 9, 10 月 | 篠原久実氏は 9 月末で当機構を退職され日清オイリオグループ㈱に復職されました。 |
| 11, 12 月 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 監事監査が 1 月 29 日 (火) 15 時 30 分より行われます。 2. Present Knowledge in Nutrition 10th Ed. 発刊に伴い、その日本語版 (「最新栄養 |

学」第 10 版) 発行に向けて作業を開始。

【理事会】

| | |
|----------|---|
| 1, 2 月 | |
| 3, 4 月 | |
| 5, 6 月 | |
| 7, 8 月 | |
| 9, 10 月 | <p>平成 24 年度第 4 回理事会が 9 月 25 日に開催されました。</p> <p>○審議の経過の概要及び議決の結果</p> <p>第 1 号議案 ILSI Japan 戦略計画の策定</p> <p>「ILSI Japan 戦略計画」を策定に向け本理事会で具体的なテーマの議論を開始し、12 月の理事会でさらに議論の上、集約し 13 年度より実行することを提案した。</p> <p>資料【ILSI Japan の戦略・長期計画の策定】に基づき ILSI 本部の下記 4 つの優先事項を基盤として ILSI Japan の戦略策定を提案した。</p> <ol style="list-style-type: none">1. 科学的重要な課題の優先順位付け2. 科学情報発信源としての位置づけ確保3. 産官学協調の拡大4. 財源・人材確保 <p>同時に ILSI Japan 研究部会の運営の参考として Research Foundatoin の現状について情報を共有した。</p> <p>今回の理事会の討論で、下記のような意見が出た。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 優先順位をつけるのには国際的な食品供給という観点とからめる必要がある。・ 人の健康と環境の健康を両輪として考える必要がある（環境の健全化）。・ 産官学協調ができるのは ILSI だけなので大切にすべきである。・ どれを優先するにしてもサイエンスが基盤であることを忘れてはいけない。・ 国立健康・栄養研究所との共同プロジェクトを推進して欲しい。 <p>ILSI Japan 活動の機軸として『健康寿命の延伸』について 12 月の理事会までに事務局でたたき台を作り議論をすることについて確認された。</p> <p>○報告事項</p> <ol style="list-style-type: none">1. 書簡「認定 NPO 法人取得・維持のための寄付のお願い」につき山口理事より説明があり 1 人当たり 3,000 円の個人寄付をお願いしたい旨報告された。2. 台湾支部の設立について山口理事より説明、10 月 24 日設立会議が開催され招聘を受け ILSI Japan の活動紹介を行う。 |
| 11, 12 月 | <p>平成 24 年度第 5 回理事会が 12 月 18 に開催されました。</p> <p>○審議の経過の概要および議決の結果</p> <p>第 1 号議案 最新栄養学（第 10 版）日本語版出版について</p> <p>山口事務局長が第 1 号議案資料「最新栄養学（第 10 版）日本語版出版」に基づき内容を説明した。</p> <p>議長がこれに対する質疑および意見を求め質疑応答の後、最新栄養学（第 10 版）日本語版出版について方向性が了承された。</p> |

第2号議案 ILSI Japan 戦略計画の策定

山口事務局長が第2号議案資料「ILSI Japan 戦略計画の策定」に基づき下記内容を説明した。

本理事会での審議テーマ

1) 科学諮問委員会 (Science Board) を新設する【科学的基盤の充実】

2) 研究部会活動の展開【事業基軸を反映】

- ・支部総会日の午後に“討議の場”を設定。
- ・既存研究部会の見直し、新研究部会の進め方。
- ・ILSI Japan 独自性：世界のリーダーシップを取れるアイテム。
- ・グローバル、他地域支部が進めている研究部会は何か。共通課題対応。
- ・財源を考慮した優先順位付け。

議長がこれに対する質疑および意見を求め質疑応答の後

1) 科学諮問委員会 (Science Board) の新設について

- ・科学諮問委員会新設の方向性については承認された。
- ・具体的メンバーのイメージを提示すること。

2) 研究部会活動の展開

- ・支部総会の午後に“討議の場”を設定することを承認。

① 最初に山口事務局長が、他の支部等の現状はどうなっているか資料を基に紹介して、それを基にグループディスカッションをするシナリオを作る。

② 既存研究部会の活動報告をしてもらう。

③ 研究活動に事業基軸“健康寿命の延伸”をどのように反映するか議論することとなった。

○報告・相談事項

1. 総会・理事会のスケジュールが下記の通り決定された。

・ILSI Japan 総会日時：2月19日（火）10時より

・ILSI Japan 25年度第1回理事会日時：2月6日（水）17時30分より

2. ILSI 本部総会時、ILSI Japan が報告する内容につき山口理事より下記の通り報告がなされた。

1) 2012年度の主な成果

① 東アジアプロジェクト報告

② ILSI Japan CHP 報告

2) 新基軸、新たな方針を設定

“健康寿命の延伸”に基軸を置く

① 活動戦略を策定

② 科学諮問委員会を設置

③ 国立研究所との連携推進

④ 他支部との連携推進